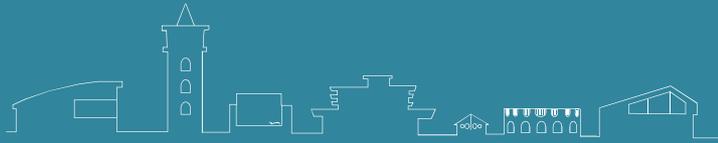


みんなで考えよう、公共施設のあり方ワークショップ通信



第4号（最終号）
令和元年12月27日発行

相模原市では、今後、人口減少や少子高齢化などが進む中、老朽化した公共施設への対応が大きな課題となっています。

そこで、「みんなで考える」をテーマに、限られた財源の中で、これからの相模原市らしい公共施設のあり方を考え、その実現に向けたアイデアや視点を提案してもらうためのワークショップを開催してきました。

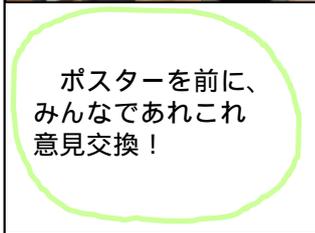
第4回ワークショップ成果発表会 in サン・エールさがみはら開催！

11月30日（土）午後1時30分～午後4時（WS参加者43名、一般参加者21名）

第4回ワークショップは、これまでの成果をまとめたポスターを囲みながら、ワークショップメンバーと、ご来場のみなさんで一緒に話し合う、ポスターセッションを開催しました。



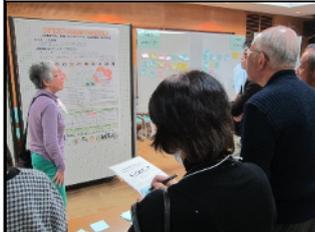
説明する人と見学者に分かれて、まずはポスターの内容の説明を聞きに。



ポスターを前に、みんなであれこれ意見交換！



イネコメントを付せんに記入！



自分のお気に入りのポスター（1位から3位）に投票！



自分のお気に入り投票結果



順位	提案
1位	地域を育てる ホットな居場所（中央区2グループ）
2位	トイレで相模原を変える！（南区2グループ）
3位	つながる～青野原コミュニティモール～（緑区2グループ）

どのポスターも、ワクワク感があり、将来を見据えつつも、実現性まで考慮されている、とてもステキな内容でした。



相模原市 公共施設 ワークショップ

検索

発行

相模原市 企画財政局 企画部 経営監理課
〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15
042-769-9240

緑区1グループ

みんなが集まる緑区 ～もっと知りたい、伝えたい～

利用者カード
ポイントカード
として活用すると...

ハッシュタグ
#緑区
#相模原
#オススメ公共施設

イベント情報
混雑状況照会
空き状況アッシュサービス
施設予約

たくさんの魅力的な
コンテンツを発信!

コミュニティバスや
ライドシェアで行こう!

施設名称を変えたら、誰でも行きやすいね!
【例】○○こどもセンター⇒○○コミュニティセンター

みんなからのコメント

- ・マイナンバーに着目したところがすごい!
- ・ポイントカードの利用で、施設の利用促進を図るアイデアが良い。
- ・SNSのイメージが分かりやすかった。
- ・ライドシェアのアイデアが良かった。
- ・親しみやすい公共施設等のネーミングは、施設に行く意欲がわく。
- ・今あるものを有効活用するという点にフォーカスされていて分かりやすい。

讃岐先生コメント!

どうしても引っ張られがちな建物の「名称」への指摘、その通りだと思います。
施設の運営ルールを整えるという発想も具体的に実現可能だと思います。
「やれるところから変えよう!」というメッセージを感じました。

緑区2グループ

3位

みんなからのコメント

- ・青野原というところにスポットをあてたのが素敵。
- ・学校をメインとしたコミュニティの目のつけどころが素晴らしい。
- ・つながりに投資という発想が良い。
- ・一つの施設で複数の使用方法があるので、とても便利で効率的な運用が出来て良い。
- ・お酒が飲める公共施設の発想がグッド!
- ・青野原コミュニティモール、ぜひ実現してほしい。

讃岐先生コメント!

投資すべきは建物よりも「つながり」であるというメッセージ、とても共感できます。
行政はまとめ役だけど、主役は自治会・市民・民間企業という発想も素晴らしいです。

つながる ～青野原コミュニティモール～

【緑区2グループ】メンバー

- ・太田 恵
- ・菅塚 光蓮
- ・岡田 幸蓮
- ・溝口 直人
- ・三樹 孝子
- ・井上 百合子
- ・徳藤 雅子

○コンセプト
私たちの考える公共施設のあり方
「施設の“つながり”に投資して、人と人との“つながり”の生まれる施設」

地域に必要な施設
・小学校、中学校
・図書館
・行政機関
・診療所
・金融機関
・みんなが集える場所
・お酒が飲める場所
・スーパーマーケット

地域の人のつながり
・ご近所付き合い
・小学校・中学校の仲間
・趣味、サークルの仲間
・自治会
・お母さんたち
・若者たち
・お年寄り

○イメージ図
○モデルケース
○フロー図
○管理・運営体制
○将来的には...

Let's Go Go!!! わたしの好きな場所。
～みんなが乗れるじぶんの施設～

さがみはら市みどり区3グループ

【現状・課題】

- ・広報の仕方が工夫できていない
- ・交通の利便性が悪い
- ・施設利用時のサポートがない
- ・拠点となる施設がない…etc

【緑区の位置】



【アイデア大型バス】



協働

PR

運営

協働

PR

運営



さがみはら市 ミドリク3グループ観光 TEL:00-0000

緑区3グループ

みんなからのコメント

- ・大型バスに詰め込んだ市民の思いが良く表現されている。
- ・発信基地があることによって、どこに行けば何ができるのかが分かりやすくて良い。
- ・バスを利用して人を呼び込むアイデアが面白い。
- ・説明する方がみんな明るくて楽しい。
- ・地元愛の強さが半端ない！
- ・ぜひ、三ヶ木に拠点施設を！！

讃岐先生コメント！

地域の資産は公共施設だけではない。それらすべてをきちんとPRすることが大切、というメッセージが込められていますね！

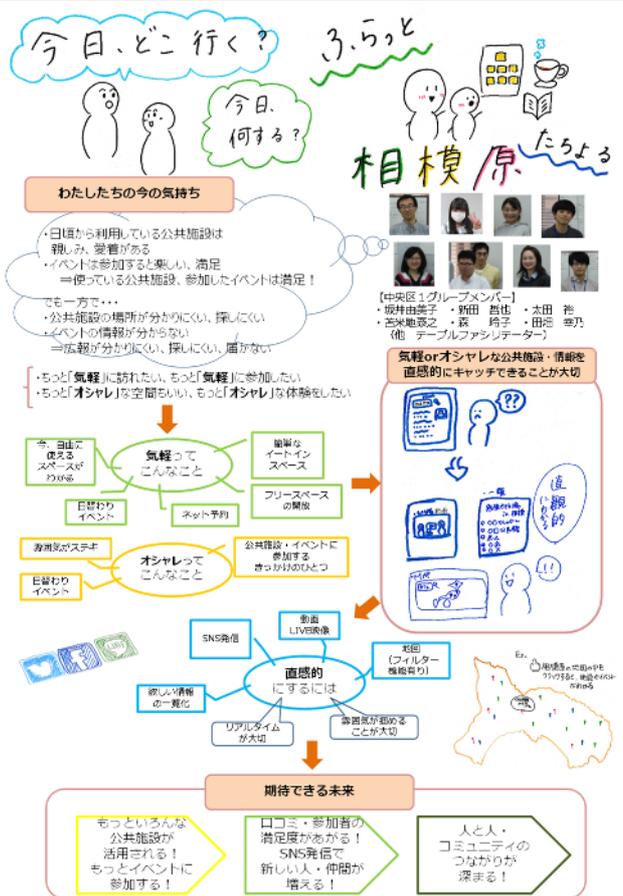
中央区1グループ

みんなからのコメント

- ・直観的に施設やイベントの状況がわかるアイデアがいい。
- ・直観的に「って言葉がステキ。広報で一番大切なポイントな気がする。
- ・「気軽にふらっと」というテーマがとても良い！
- ・利用状況のLIVE配信は、施設利用の敷居を下げるのには良い。
- ・気軽さとオシャレは利用を伸ばすポイント！

讃岐先生コメント！

単なる「事後の広報」ではなく、「リアルタイムで発信する」というアイデアがイケテル！！



地域を育てるホットな居場所

人が集まれる・参加できる場所づくり×地域の旗振り役の育成

○現状・主な課題

- ・交通の便が悪い
- ・青少年が集える場が少ない
- ・公民館は団体が予約して使うイメージで気軽に集えない

○課題解決のアイデア・できること

キーワード・・・集まる コミュニティ 人づくり

集まるために交通対策難しい ▶ 集まりやすい所に居場所をつくる
⇒それはどこか？

○小学校の空き教室の活用



小学校のいいところ	こんなものが入るかも	効果
・みんな知ってて身近 ・歩いて行ける ・空いている教室がある (場所・時間) ・耐震性がしっかりしている ・キッズ、図書室色々ある	・子ども食堂 ・不登校児の自由教室 ・高齢者の集いの場 ・多世代間交流の場 ・乳幼児向け親子サロン ・国際交流の場	・多世代間の交流の場所 →年長者からの知識、経験の伝承 ・地域による子供の見守り →育児に悩む人の手助け ・地域活動による高齢者の健康促進 ・加食を防ぐ

○実施に向けて

地域力低下や高齢化に対応し、続けていくためには工夫が必要

誰が運営する？	どうやって人を集める？	成功事例の視察
・施設管理⇒役所・民間 (継続できるような大きな団体) ・運営⇒地域の人 (参加してもらおう、して欲しい) ・収入⇒利用料金、企業広告、補助金 (自由に使える場合は無料)	・対価が必要 ・名寄せややりがい ⇒まずは参加してもらおう仕組みづくりが大事 例：民間に運営してもらう代わりに、他の教室を貸すなど？	・市民が参加して自分ごととして考える ・会社のようなしっかりとした視察 ・気付きや失敗内容などを知る

将来的には更新時期が来たなら複合施設としての運営を想定しても良いかも
(まずはできることから小さな単位で、not 大きい施設)

「優しい地域」を形成し地域力をUP!

【中央区2グループメンバー】

- ・中島 陽二
- ・中塚 順子
- ・北澤 喜美子
- ・山科 昌俊
- ・小松 様子



中央区2グループ

1位

みんなからのコメント

- ・学校をコミュニティの核にするところに共感！！
- ・空き教室を有効活用する取組みが良い！！
- ・子どもと大人が自然とつながることが出来る場になると良いと思う。
- ・学校を上手に活用して、多くの人々に使用してもらえるアイデアが良い
- ・人づくりに力を入れているところがグッド！
- ・実現性が高く、イメージしやすい。

讃岐先生コメント！

集めるための手段ではなく、「集まる場所がどこか？」という発想の転換がカッコ良い！！

中央区3グループ

みんなからのコメント

- ・ゴミ袋の有料化などで費用捻出するアイデアが良い！
- ・循環バス欲しい！
- ・体力テスト楽しそう。
- ・発信だけでなく、イベントも考えているところが良い。
- ・経費のかかるアイデア、自分たちが汗をかくアイデア両面から考えるのは面白い。
- ・イベントを通してすべての人たちが楽しめる企画が良い。

讃岐先生コメント！

コミバスを出すという要望型のアイデアに対し、ゴミ袋有料化という「稼ぐ」アイデアがGOOD！

魅力発信さがめはら!!

現状の課題

- ・魅力が伝わっていない。
- ・市内にどんな公共施設やイベントがあるかわからない。
- ・施設が活かしきれていない。
- ・市内のアクセスがよい。



公共施設でなにができるだろう。

今ある施設を活かした四季に応じたイベントをきっかけに、多くの人に親しまれるまちにしていきたい！

【中央区3グループメンバー】
・若田 恒也
・中野 義毅
・本木 良一
・砂田 敦子
・船山 啓子

例えば、施設 体育館 × 秋の全市民1本カテスト



◎周知・PR

知られていない公共施設などをたくさんの人に知ってもらうために、イベントと一緒にPRしよう！



自分たちになにかできる？
・SNSや口コミで発信する。
・市内の大学生と一緒にフレットを作成して、駅や市役所などで手にとってもらえるようにする。

◎アクセス

循環バスを充実させて公共施設へのアクセスをよしよう！



自分たちになにかできる？
・循環バスに必要な費用を出す。
(たとえば、ごみ袋の有料化など)

じゃんじゃか 見える化 市民参加

コンセプト

見える化 × 市民参加

4つのアイデア

利用しやすくなるサービスの

1 利用度ランキング

- ・市民投票による順位
- ・上位の施設にお金をかけていく
- ・どの施設にどのくらいお金をかけるか明確化

「市民」学校・公共施設で投票
「市」集計・公表

「公共施設」現状と課題

- そもそも認知度が低い...
- 何がどこにあるか分からない...
- 何に使用されているかよく分からない...

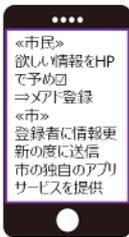
2 大きな看板

- ・駅に大きな地図
- ・共通の看板で分かりやすく親しみやすく!!

「市民」学校単位でマークを作成
「市」マークを掲げる

3 情報面の整備

- ・イベントの発信
- ・HP・広報



将来像

- 地元愛♡が広がる!
- 活気ある街になる!
- 外から移住してもらえ!

4 交通面の整備

- ・シャトルバス運行
- ・「駅からの通路」
- ・様々な施設を結ぶ
- ⇒コスト面を考え
- ・小規模なバス等
- ・民間委託をメイン

南区1グループ

みんなからのコメント

- ・イベント等のPRに力を入れているところが良い。
- ・4つのアイデアに分けていて分かりやすい。
- ・利用度ランキング上位に優先して投資していくアイデアは思いきりが良くて面白い。
- ・利用度を数値化して見える化するという発想がとても良い
- ・情報伝達の重要性がよく表現されている。
- ・キャッチコピー、イラストがかわいくて親しみやすい。

讃岐先生コメント!

「見える化」と「市民参加」がこのプロジェクトの「ビジョン」になっている。そのため「アイデア」も具体的で面白い!!

南区2グループ

2位

みんなからのコメント

- ・トイレから集客という発想が良い。
- ・トイレの美化は大いにやって欲しい。
- ・誰もが利用するトイレをもちいることで、市民参加や企業をまきこんでいける良い企画だと感じた。
- ・防災の面からも、着眼点が良い。
- ・本気で進めたら広く人を呼び込むコンテンツになるかも?と思った。
- ・1番早くできそう!

讃岐先生コメント!

ある1つの「まちの装置」を取り上げて、とても具体的なアイデアにしている点がステキ! 他の施設にも発展できそう!

トイレで相模原を変える

【メンバー】
・ゆづりけさん・さとまさん
・やすみさん・まきまさん
・けいこさん・みほさん

Concept
かわるキッカケ
人が集まるキッカケとして

資金が少なくても
取りかかれる!!
運営経費がまかなえる

トイレ をイチオシします。

Who?	How?	Money
市民	トイレ本体	備品代
デザインや企画	ペーパーホルダー	施設代
学校対抗とか ケースバイケース	周辺 (壁とか天井とか)	ふるさと納税品として グッズ化
企業	Where?	企業からの収益
¥スポンサーとか 広告にしてみいかど	まずは取り組みやすい 公共施設から	クラウドファンディング e t c . . .
デザインの実現		

みんなが気軽に自由に集まろう!!

◆課題・問題◆

- 空いているのに活用されていない場所がある
- 自由に居られるスペースがない
- 施設に行きづらい

南区3グループ

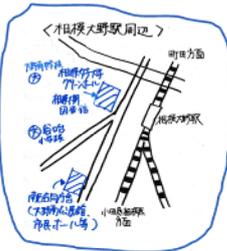


◆メンバー◆

- ・中田 安雄
- ・菊地 利和
- ・河相 清四郎
- ・格地 悦子
- ・黒川 好美 (順不同)
- ・植原 君代
- ・佐藤 勇

◆課題解決のためのコンセプト◆

- 気軽に使える!
- 誰でも使える!
- 施設をもっと使いやすく、みんなが集まれるように!
- 多目的に使える!
- 便利!



◆アイデア◆

施設本来の設置目的を踏まえ、その施設の良いところは残しながら… (例えば、公民館 = 社会教育施設!)

- みんなでつくる新しいルールを
 - ゆったりできる集いの場を
 - バリアフリーに配慮を
- ・団体しか利用できない施設を個人でも使えるように
 ・色んな施設や部屋を多目的に使える柔軟さを
 ・ルール違反にはペナルティも
- ・カフェなどの飲食スペースや自販機を設置する
 ・子連れで遊べるフリースペースを設ける
- ・障がいのある方でも気軽に使える施設にする
 ・ユニバーサルデザインを取り入れる

南区3グループ

みんなからのコメント

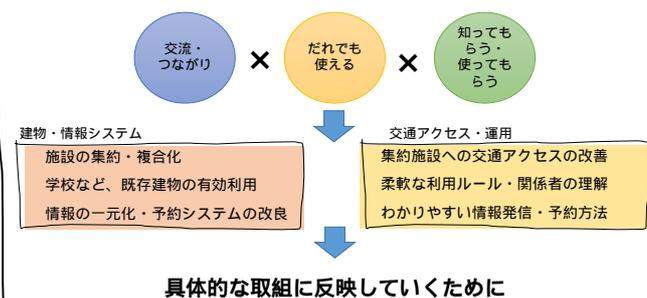
- ・市民が気軽に利用できる施設、場所が必要。
- ・新しいルールを「みんな」でつくるのがいい!
- ・ルールの見直しで使いやすくしようというソフト的な取組が良い。
- ・現状うまく使えていないスペースを有効活用することは必要。
- ・公民館の敷居を下げるアイデアがたくさん出て良かった。

讃岐先生コメント!

既存の施設でも、使い方の工夫、運用の工夫で、もっとサービス水準を上げられる、という考え方がGood。

市としてもこのワークショップで、皆さんから教えてもらったアイデアや思い、考えを受け止めながら、より一層、これからの時代を見据えた公共施設のあり方を検討、実践していきたいと思えます。

ワークショップで得た気づき ~皆さんの提案を受けて~



これからの公共施設マネジメントの取組

- 公共施設マネジメント推進プラン (平成29年3月策定)
⇒ 建替えの際の施設配置の考え方 (分類ごと・地区ごと)
- 公共建築物の長寿命化計画の策定 (令和2年3月予定)
⇒ 施設の計画的な改修、建替えの考え方

これから地区ごと、施設ごとの再編・再整備がはじまります。

取組には、すぐにはできることもあれば、時間がかかるものもあります。

市が頑張ることはもちろん!

市民・民間・行政それぞれが公共施設マネジメントの取組に関心を持ち、自分達のできるところから一緒に変えていきましょう。

例えば情報発信とか・



今回のワークショップは、首都大学東京の讃岐先生と学生の皆さんの協力をいただきました!



讃岐 亮 助教 プロフィール

首都大学東京 都市環境学部 助教
専門は、都市計画学。
これまで、多くの自治体において、公共施設の再編に関する計画策定などを支援。

今回のワークショップで「面白いアイデアはありましたか?」「楽しい街の未来が描けましたか?」「楽しいディスカッションが出来ましたか?」
今回のワークショップは、きっかけです。これから大切なことは、「継続性」「実践」「発展性」です。
自分事(ジブンゴト)になりつつある今、これからの相模原市の取組に期待します。

